

黒毛和種産肉能力検定（間接法）成績

（岩手畜試 種山肉用牛改良センター，肉牛部）

1. 背景とねらい

黒毛和種の産肉能力向上を目的とした黒毛和種牛群育種改良推進事業において、産肉能力検定間接法を実施し、岩手県産の4種雄牛の成績を得たので参考に供する。

2. 技術の内容

- （1） 富蔵： 平均日増体量（DG）は、0.78kgと発育が劣った。脂肪交雑基準値（BMS, 1.8）とロース芯断面（41cm²）はいずれも全国平均以下であった。皮下脂肪（1.6cm）と筋間脂肪（5.2cm）は薄かった。
- （2） 光次郎： BMS（2.0）とDGは（0.85kg）は全国平均をやや下回った。皮下脂肪（2.4cm）は厚かったが、その他の項目は平均水準であった。
- （3） 卓金： BMS（2.0）とDG（0.83kg）は全国平均をやや下回った。筋間脂肪（5.1cm）は薄く、その他の項目は平均水準であった。
- （4） 金色王： BMS（2.0）は全国平均をやや下回った。DG（1.01kg）とロース芯断面（51cm²）は良好な成績で、皮下脂肪（1.6cm）も薄かった。

3. 指導上の留意事項

- （1） いずれの種雄牛についても現場後代検定成績を加味して選抜の有無を検討することとしている。
- （2） 検定方法
場所：岩手県畜産試験場種山肉用牛改良センター
期間：富蔵・光次郎：平成7年9月22日～平成8年9月20日
卓金：平成7年11月3日～平成8年11月1日
金色王：平成7年12月22日～平成8年12月20日
飼料：間接検定用飼料（TDN73.0%，DCP10.0%）を不断給餌し、粗飼料はイナワラを濃厚飼料の10%給与し、あわせて禾本科乾草を飽食給与した。

4. 試験成績

表1 平成7年度黒毛和種産肉能力検定(間接法)成績 (単位: kg, %, cm², cm)

検定牛 (n)	富 蔵 (8)	光次郎 (8)	卓 金 (7)	金色王 (8)	H6年度 全国平均 92セット
生 年 月 日	H4. 1.16	H4. 5.27	H4. 6.11	H4. 6.26	
登 録 番 号	黒原2724	黒原2768	黒原2769	黒原2770	
父 (登録番号)	菊 谷 (黒原908)	紋次郎 (黒11550)	菊 谷 (黒原908)	安 波 (黒原1426)	
母 の 父 (登録番号)	高 庭 (黒9464)	大 豊 (黒原540)	和 人 (黒8166)	福 昌 (黒10756)	
開始時体重	262.0±17.5	260.4±15.5	285.7±13.9	244.4±31.6	258.8
終了時体重	557.5±47.0	594.1±36.6	587.1±31.0	611.3±52.2	580.7
日 増 体 量	0.78±0.09	0.85±0.09	0.83±0.09	1.01±0.11	0.88
1kg増体TDN	7.07	6.95	6.68	6.32	6.66
枝 肉 歩 留	59.0±0.8	60.5±0.9	59.9±0.8	60.8±1.2	
口一ス芯断面積	41±2.4	44±4.9	47±3.5	51±4.8	46
背部皮下脂肪厚	1.6±0.3	2.4±0.6	1.8±0.5	1.6±0.5	1.9
脂 肪 交 雑	1.8±0.4	2.0±0.5	2.0±0.6	2.0±0.5	2.3
枝 肉 格 付	A5:3 A4:4 A3:1	A5:3 A4:3 B4:2	A5:2 A4:4 A3:1	A5:3 A4:4 A3:1	